

関係各位

お詫び

去る1月6日午前1時30分頃、私、齋藤孝明は、帰宅途中の宇都宮市関堀町地内道路の二股交差点において、自動車を石積みに乗り上げる物損事故を起こしてしまいました。その事故の数時間前まで飲酒をしていたにもかかわらず、十分な状況確認を行わず、自ら自動車を運転してしまいました。

各種報道にありましたとおり、警察による飲酒検査の結果、基準値に至っておらず、現時点での主な容疑内容は、事故不申告の事実等となっております。しかし、そもそも飲酒運転は社会人として絶対にあってはならないことで、今回の私のあまりにも軽率な行動を猛省いたしますとともに、事故によりご迷惑をお掛けしてしまった方々、期待を裏切ってしまった地元選挙区をはじめとする全ての県民の方々に、心より深くお詫びを申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

本来、事故を起こした時点で、速やかに警察に通報し、現場から当該事故の申告を行わなければなりませんでしたが。しかし、事故の衝撃音に気付き外に出てこられたと思われるご近所の方が、その場に立ち尽くす私のことを気遣われたためか、数キロ離れた私の自宅まで送っていただけるとのご厚情を受け、私は、そのお言葉に甘えてしまいました。

事故現場の車は、私の車のナンバーが付いており、石積みに乗り上げ、動かすことができない状況になっておりましたので、当然ながら、逃げ隠れするつもりは、私には決してございませんでした。しかし、一旦は事故現場を離れてしまったことは事実であり、この行動も極めて軽率でありました。今、このことにつきましても、深く反省をしております。

その後、当然のことではありますが、私は、現場から離れた場所から警察に申告するのではなく、事故現場において状況をつまびらかに説明しながら報告することが必要であるとの思いが拭えず、急ぎ徒歩で現場に向かいました。しかし、徒歩では相当の時間を要することから、友人に連絡を取り、途中から自動車に乗せてもらい、結果として事故発生から70～80分後の午前2時40～50分頃、再び現場に到達いたしました。そして、警察関係者の方々に、自らが起こしてしまった事故について申し出、そこに至るまでの経緯についても含め事情の説明を行った次第です。

現在も警察による捜査は継続中であることから、今後もありのまま全てを話し、全面的に捜査に協力し、真摯に事実と向き合ってまいります所存です。

私の今後の身の処し方につきまして、今回、飲酒をした後に、数時間しか経過しない中、自動車を運転してしまったという私自身が認めている事実は、たとえ、それが違反基準値以下だったとしても、その軽率な行動は、栃木県議会に身を置く一議員として、それ以前に社会人として、あるまじき行為であり、県議会の権威と、県議会に対する県民の信頼を著しく損ねてしまったとの認識から、改めまして深い反省と心からのお詫びを申し上げます。こうしたことから、私は議員としての職を辞する意思を固めております。

今回の件で、現時点で私からご報告できることは以上となりますが、今後も引き続き、事実を包み隠さずお話しし、事実を認め、求められる責任に真摯に向き合ってまいります所存です。

このたびは、誠に申し訳ございません。

2022年 1月11日

齋藤孝明